

特別活動研究会 会報1号

令和4年度 会員数 159名!

KAWASAKI 特活

学級活動 (1) (2) (3) 児童会活動 クラブ活動 学校行事

川崎市立小学校 特別活動研究会

検索



令和4年度 川崎市立小学校 特別活動研究会 総会 研修会

令和4年5月11日(水) 川崎市立王禅寺中央小学校



研修会 「今こそ求められる特活の教育力」

國學院大學 人間開発学部教授
前文部科学省視学官
杉田 洋 先生

心の能力を高める特別活動を!

学級会の中では、「わたしは」「ぼくは」といった話をする子ではなく、「わたしたちは」「ぼくたちは」というクラス全体のことを考えることのできる思考力を育む。その積み重ねで集団社会の形成者を育てる。自分中心ではなく、集団の民意を汲むことができると豊かな社会となる。また、さまざまな集団活動を自主的に取り組むことで、次につながる。学級の全体に目を向け、子供たちに任せられる範囲を広げられる教師でなければならない。そのために学級会は、「お楽しみ会」をするためのものではなく、「学級の問題点・課題」に向き合う時間となる。話し合い活動を行うことで学級を豊かにする。子供たちを信用して実践の場を設ける。指示待ちの子供たちを、主体的に動くことができる子供たちにするためには、教師がその場を設けなければならない。実践の場を設けることで、子供たちは自ら考え、行動できる人間へと成長する。例として「いじめ」を挙げると、子供たちのいじめは、教師の見ていない所で起きる。教師が見ていないその環境で、いかに子供たちの思考力が問われるか。いじめを自分たちで起きない風土のクラスを作っていくための学級会が求められる。学級会で、自分たちのクラスで話し合うべきことを理解して、それを乗り越える集団づくりが求められる。担任が、子供たちの「生活上の諸問題」の議題化や「合意形成や意思決定の仕方」などの指導法の改善を日頃から行っていくことで魅力ある特別活動へとつながっていく。今後も、特別活動を実践していくうえで、質の高い育成を目指していきたい。

特別活動研究会 会員の皆様

本誌「KAWASAKI 特活」では、本研究会の様々な活動を発信しております。教育課程研究会や小教研授業研究会の授業の様子、総会・研修会などの様子につきましても、協議で話題になったことや講師の先生から指導していただいた内容を掲載していきます。今年度は、c4thの個人連絡を活用させていただきたいと思っております。会員の皆様には、本誌をプリントアウトしていただき、各校で教職員向けの掲示板などで紹介していただきたいと思っております。

本誌タイトル右側のQRコードを読み取っていただきますと、特別活動研究会のホームページにジャンプします。過去の授業実践の指導案、会報などのデータベースとなっております。必見です!

第1回 教育課程研究会の予定

6月8日(水) 鷺沼小学校 東急田園都市線 「鷺沼駅」より徒歩5分

6月15日(水) 東高津小学校 東急田園都市線 「二子新地駅」より徒歩11分